



斗談鎖叢

四十三
五九

服部文庫

117

59

7



天保九年

一西九尖上一件

天保十二年

一文恭院樣畫師

一三月二日地震之張山脚破損所

一庄內少國船一件

一林紀後守多里美漢昌美漢那

能安昌師汝漢免身及一也

一上州高奇士陸一也

天保九年三月十日

為恒山檄海登

城於席渴水野亭故書

右同郵舟滿浩言安浩庇以養者中及登
城於席之渴老中

右以月明十日之祭方作也此

同十一日

明末三月乃同涉越嶺而三友方作燕市客

於席之渴掃却老中

右以月紀倅尾法並大張云。使心造為也。

於頌方楊

和泉寺
伯耆寺
備中寺

同十二日

封上状

西丸山嶺所見處人

相澤久物

里村定吉所

山口正茂

中務博三所

松坂長之助



同法所
同法所人

里村勇三所

由井久平

升友忠三所

窪川勝三所

乙津大三所

田中九右衛門

出口鉄三所

一五〇年

揚屋老久

同法所
同法所人

同法所
同法所人

口口口口口

口口口口口

井上平氏

右記評定所初席野口内大東安房与池田修理
之合河内与安房中一安

三月十二日

同日

伊座間

水野越前守

右記評定所用掛

右記評定所用掛

伊座間

林氏後守

氏氏山内内

右記評定所用掛

伊座間

松平内通氏

明樂飛騨守

土波丹波守

三枝虎守

松平玄蕃氏

由動之味及

子居八右馬

石西九口書清山用截り

作月石於芝答

老中列座和泉寺中

同十二日

紀伊殿家老

水野公佐

尾法殿家老

成瀬隼人

石西書清山

所座向大真向山

作如月寺

石西芝答より掃部殿老中列座和泉寺中

松平加賀守

松平越中守

酒井虎衛尉

名代酒井松清

山本宗大

名代子村松正

同月山本傳

作付

石西書院後列座同和同

井俾部既

作

石方奧相湫

松平齋政

卯九月三日
上綱令仕交方同新之類也
所聽

右旂部通書院海掃部改考申列座和泉寺

同市人

柳原式部大輔

名代神樂部大橋

死凡所當盡者上綱金他及方圓形之類連

御馳花〜後
心石仍〜内彩〜每全武刀局上納

會
作
在
書
後
以
司
途
之
名
加
之

水野出羽守

同文云令其方取上網結御封

右御書院緣類卷中列座和泉百中

以劫之

丙辰年人己

卯元 以善法所開法

仰升

同古七日

大洲柳之廣家之次

稻田八郎左馬

河合照左馬

栗原六左馬

河合定矩氏

渡辺三郎助

石原孫助

河合重房氏
田大之頭

金田藤七郎

河合本重氏

垣尾金之助

西村 氏助

小曾清方

吉田猪左馬

石倉小三郎

高井精之馬

河合重房氏

大平信十郎

河合定矩氏

羽田洪之馬

青山洪之助

子田 兵助

河合重房氏

同改改並出役

小倉源之進

少助之

河合庄右衛門

探越龜之進

野田定次郎

小高登一郎

三好三好

小善長方改役

長坂果之助

坂入大次郎

以佛事奉行

豐藤若石

思本良右馬

和丸以書清以目注

右記右尊初屋縁於我常中後之増山河因寺

侍座

封也状

以書院友

有我伊豫方延

松前主馬

以書不相題以小善長入

長松

三月廿七日

大目月

死凡以書法之方而用之莫不其方以三家
以子傳法作批中萬石以下而諸君又以此方
奇合小書法起而五百依以上動仕并平病也
百依月生或為死五百依高以下百依以上動仕
不病凡高百依月生或為死五百依高以下百依
合張作付公為南老中上上上上上上上上上
以動仕也

右ノ通方石ノトモニテ

三月

國十

封也狀

卯

清結東清彙編

二
高橋金吾

字多

田久順藏

字之

李商隱詩
卷之八

衣旅許定而初康野河内寺大系安房寺池田渡屋
立舍安房寺中後々

同月八日

阿部伴勝書

名代松平在平元

卯辰巳書信 月上網金仕反肉彩 題信
御使形 後信 乙辰 依 肉彩 五金二万五上納
信 作付在書信 以用達 乙辰 辰 辰

秋元但馬守

名代秋元在馬守尉

同文之金五万五上納信

作付

右於芝菰 為掃部政老平和泉守中後

同月九日

以學中書

梶野土佐守

小書信 中書

石河教馬

卯辰巳書信 月上網金仕反肉彩 題信

右於芝菰 為老中列位和泉守中後 辰年
秀中侍從

同月二日

大甲書信

小條遠江守

卯辰巳書信 月上網金仕反肉彩 題信 御使形 後信 乙辰 依 肉彩 五金二万五上納
信 作付在書信 以用達 乙辰 辰 辰

右於其卷之五老中伯考名列座中勢大補

同二日

松平甲斐守

同文之食三万兩上納法 作付

右於其白書院錄於老中列座中勢大補

同

松平伊豆守

同文之食三万兩上納法 作付

右於其卷之五老中列座中伯考名列座中勢大補

同

南郡 信濃守

右代官部 甲斐守

同文之食三万兩上納法 作付

右於其白書院錄於老中列座中勢大補

同

右於其白書院錄於老中列座中勢大補

同六日

松平大隅守

右代官部 甲斐守

同文之食三万兩上納法 作付

右於其白書院錄於老中列座中勢大補

右龍波之石老中列座月丁後

都乐越中

日乃月令二音反上納廿
作有

林
大鑄子珩

以府令百吏上納
作

一 天保九戊午二月十日曉而為矣

落

吹上日向

彩
又云

藏書

大御親孫天文方より侍りし計度九焼と成りて
申してあるも世より後上意ありし月天文
方より清くよるにせしめりし月外令よる
及不申す事ある事よるに清くよるに何れ
とせりしに後上意ありしに即ち文

天下地火名々多
日々中來ハ既以達仕人

為邦安正射以全

三子

法考中校方少所

六百友

去年秋中秋方所

世傳者多秋と別段と網を有と紙

万石主百友核

尾州核

紀州核

法隆寺中月主

あま核

万石主百友核

掃部頭酒造

核万友

加州核

大正初年の字々のひくたいと云

と云く共と云をヤと云

和泉と云の字と云の中務伯耆と云

目よりと云右田馬と云

起るは山自文の山と云

焼くは山と云の山と云

理やりのえと云の山と云

と云の山と云又誰と云と云

山と云の山と云

連鶴と云の山と云

山と云の山と云

山と云の山と云

山と云の山と云

山と云の山と云

山と云の山と云

と既下級をあらはる風多し有る也

四月二十日

二重を齊

信長より討け甲斐よりある城の

はしよりして人々焼く等とはして

片もとり入る人々もあつてある

ぶの世やちるものなり

ウの傳へ刻

一 八万三千五百石 尾洲

一 九万七千九百石 尾洲

一 拾万二千七百石 加判

一 二万四千五百石 浅津

一 五万二千五百石 森名

一 五万二千五百石 姫路

一 五万二千五百石 莊内

一 五万二千五百石 杉山

一 五万二千五百石 小倉

一 五万二千五百石 彦根

一 五万二千五百石 津

一 五万二千五百石 忍

振成新様

八 五万二千五百石 振成

旅人ありて

ふ谷

森川

鹿嶋

そ万五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

五元

痛のふくはしき梅片
いと思ひありしうしろのひかり
こゝろをふくはしき梅片とて終

の役梅片作しきうしろのひかり

若根もふくはしきうしろのひかり
英令そわふふくはしきうしろのひかり
うしろのひかりとてうしろのひかり

万枚とてふくはしきうしろのひかり

重根とてふくはしきうしろのひかり

万枚とてふくはしきうしろのひかり

山形梅片とてふくはしきうしろのひかり

ふくはしきうしろのひかり

梅片とてふくはしきうしろのひかり

ふくはしきうしろのひかり

ふくはしきうしろのひかり

ふくはしきうしろのひかり

ふくはしきうしろのひかり

ふくはしきうしろのひかり

ふくはしきうしろのひかり

山形梅片とて

他れれとて梅片とて

メそ万九ふふ

一 万ふふ宛

義年分松方人

世大所別株のふふふふ宛

メふふ宛

一 二ふふ宛

寺社奉行松方人

メそ万ふふ宛

一 一萬ふふ

松平頼政守松

一 一萬ふふ宛

郡京式三浦松

一 一萬ふふ

水建出羽守松

一 一萬ふふ

阿部伊勢守松

一 一萬

秋元但守松

一 七万ふ

計人師範建元

メ振五万ふふ

外村田松方人

一 一萬ふ

奥田五郎守松

一 一萬ふ

日市福

一 一萬ふ

川村清守松

一 一萬ふ

本庄中守松

一 一萬ふ

三谷三九守

一 一萬ふ

三村清守松

一 一萬ふ

三村清守松

一 一萬ふ

松本重守松

一 一萬ふ

本庄重守松



三子孫

芥川六之助

韻

山下重石

和竹系南之世々々々々々々々々々々

武百友

三万两

八子

子夏

乃中

五万

肥前天守府

山上十三

石牛腸

廿九年之改と改方年と秋而重院上西氏生々月

吾乃中女

閑心悟道

延洪

拈力西

五石齋

又或中書方士七百友

九族九方六族七友

外

西馬

以養者為元

十八

恒而石之五面及家之刻今在方石之上方
在八石之刻今

荒穢身也

凡口

小書法

百煉

吾友

日

或為玄刻

以動之而以用之

安海榮任居

隱水平之流以

三万函

石牛喘之助

同

士万友

接人底

南时人

三万五千六百六十六

四
同
古

西元大正三年己未正月

不_レ大_ニ迎_テ 高_ニ格_ニお_レ所_ニを_レつ_テ 西_ノ寄_リの諸_ノ衆_ヲ

唐吳道子畫
張道藩
上卷八

越前守

李元吉

在化火中……

所審^之處。一、火逆。二、精氣。防と云。故也。

後守

所德世故了了
上三意

一 所用為松平和泉子似此勝中為若唐後國記完結
所傳同矣一二月 諸城通同之商公用之而合
諸國意相同之而合之而泉子似此勝中為若唐
以後接接而傳 中傳之而合之而泉子似此勝中
傳之而合之而泉子似此勝中為若唐後國記完結
中後之而合之而泉子似此勝中為若唐後國記完結
所傳同矣一二月 諸城通同之商公用之而合
諸國意相同之而合之而泉子似此勝中為若唐
以後接接而傳 中傳之而合之而泉子似此勝中
傳之而合之而泉子似此勝中為若唐後國記完結

一 天保九成年二月亦寫此書者為松方今期即因
所登之珠於其卷之而面此書者為松方今期即因
同為名勝之通而老中一而中此書者為松方今期即因
此方校以而為松方今期即因

本天下總書

卷一

白

在之而面此書者為松方今期即因
取斗一方之而面此書者為松方今期即因
同收味收而為松方今期即因

掘田加賀書

此書而此書者為松方今期即因
而之而面此書者為松方今期即因

作月夜の依りて筆より振別り筆の書也
作月夜の依りて筆より

一 天保九年三月十六日

井伊掃部頭

卯辰書信 月夜廣方角 并大奥向大奥 傳信 作月夜

同月同日

松平加賀守

卯辰書信 月夜廣方角 并大奥向大奥 傳信 作月夜

松平越中守

酒井左衛門尉

小室宗大膳方

右月夜の依りて筆より 作月夜

右月夜の依りて筆より 和泉守 傳信 松平紀後守

酒井雅樂次郎平 傳信 和泉守 松平紀後守

在國 月夜書信 和泉守

松平濟次守

卯辰書信 月夜廣方角 并大奥向大奥 傳信 作月夜

卯辰書信 月夜廣方角 并大奥向大奥 傳信 作月夜

卯辰書信 月夜廣方角 并大奥向大奥 傳信 作月夜

一 天保九年三月十三日 品用 和泉守 松平紀後守

卯辰書信 月夜廣方角 并大奥向大奥 傳信 作月夜

卯辰書信 月夜廣方角 并大奥向大奥 傳信 作月夜

卯辰書信 月夜廣方角 并大奥向大奥 傳信 作月夜

一 反り多し新沖城内は遠官は用途加威
の尤更加に極難有はたきりな海船と述ぐ 作付
しり重なり先使と因許しりも大代出許方々
既十月迄く名重上細仕交世能は月意き其何れ

三月十二日

南部 儀濃寺

- 一 楊枝子 4
- 一 同 3 4
- 一 同 5 4

そり 4 4 角
そり 4 4 角
そり 4 4 角

一 今儿右身是也より今儿本紙より通山本吟味
言ふるに悉く上り通る趣き味は此上候り
相成りし事及行しりも世方より後海草也

相及又し奉るお動りもみ且觀る極大找ふる
以下より今觀る山へ味より上り通る趣き味は
より別紙に見る二通より大略一しりより行し
先使より
先之品を東南より先之味より通る味は次より
可達より

是

一 觀

在本品より後し度より大代より上り通る味は
趣き味より上り通る味は

四月十二日

金五百文

目録四百文

近友石見寺
加友仔細書

石於此輩初見經於掃初既老中列門中務去痛下信之
 養年矣中侍所

國十六日

肉夜豐後守
大國紀伊守

面凡以書法爲上，酒色性反，方圓形，新造。

壹江鐵印

右旂國帝列位國前人中後

大聖賢

石門作豫章

越後河守

村瀬長つと

日向
三
坪

右於同席列位同寅
中瀝之
恭年芳年竹元
本多下總寺

西凡此書得之村山為佳 作有以肉類之趣者為多
金志方女士題 作有

石於新嘉坡中街大埔中後

同市日

高安

高山或都痛

而此以善信并上綱念仕交為因於之報連
亦能
奇功之未之也
也各依之因於之金五而為上綱結
作身之

石於芙蓉之香老中列所傳後寺中後

山書院

大之傳紀序

蘇門下總書

高井但馬守

右大將神山重信遺次
下多對馬守

年久散らるる

秋田侯政

酒井隱岐守

吉田運八郎

右於回席列座回前同人上座

同市百

水中網之類使

物敏平七

[illegible]

右於芝蔴寺中列府同入中海

松平隠岐守

名代保科源忠房

而此書後乃以信託 竹月寺內所藏之書 經連所贈之

石於所是書院通列所同而向人手中渡

佐竹右京大夫

而此書後乃以信託 竹月寺內所藏之書 經連所贈之 中藏因形之經連 所贈之 經連所贈之 因形之經連 所贈之

大久保仙凡

名代大久保安房

而此書後乃以信託 竹月寺內所藏之書 經連所贈之

源井大和守

名代源井右京亮

而此書後乃以信託 竹月寺內所藏之書 經連所贈之 中藏因形之經連 所贈之 經連所贈之 因形之經連 所贈之

右於英蓉乃列所同而向人手中渡

也書院通列

曾我伊豫守

小笠原長一守

而此書後乃以信託

小笠原右衛門

也書院通列

久貝因幡守

朽木因防守

元龜堂後集

菅原仲實

本多日向

関 拔磨

右大納言

山崎經高

牧浦古吉

山崎氏

石川左衛門

日向 仲雅

山崎氏 仲雅

右 藤原老中伯耆守大納言仲實

日向 仲實

山崎氏

菅原仲實

西尾重房 上納言仲實

山崎氏 仲實

日向

島山茂房

大沢左衛門

日向 仲實

右 菅原老中伯耆守大納言仲實

池田仲實

西尾重房 上納言仲實

山崎氏 仲實

在回席同前人中一後

九鬼長一

而此書卷中凡有作字者其內形之趣亦多

在於新而酒飲也

同市

後綴行

由良操

而此書卷中凡有作字者其內形之趣亦多

在於新而酒飲也

同市

此姓經書

昨夜內藏

菊井平

而此書卷中凡有作字者其內形之趣亦多

在於新而酒飲也

小出重水

大田大

而此書卷中凡有作字者其內形之趣亦多

右前... 右中... 右後...

同本乃

細川越中

... 乃... 乃... 乃...

右前... 右中... 右後...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

乃...

右ノ新年分元ノ當ル所ノ氏名支記ノ以テ人ノ世ニ
名入テ事云

三月十日十一日

金ノ子ノ友

伯耆守ノ友ノ列院ノ友

金ノ子ノ友

若年ノ友
永井肥前守ノ友
大是ノ主ノ友
重多ノ豊後守ノ友
坂田振津守ノ友

肥前守ノ友ノ主ノ友ノ友ノ列院ノ友

右ノ新年分元ノ當ル所ノ氏名支記ノ以テ人ノ世ニ

金ノ子ノ友

伯耆守ノ友ノ列院ノ友

金ノ子ノ友

伯耆守ノ友ノ列院ノ友

金ノ子ノ友

伯耆守ノ友ノ列院ノ友

金ノ子ノ友

伯耆守ノ友ノ列院ノ友

金ノ子ノ友

掃部頭ノ友
和泉守ノ友
越前守ノ友
佐後守ノ友
中務大進ノ友
伯耆守ノ友
佐中守ノ友

水戸版と松板と方板との細^り 定之丞 幸徳

一慶長十二年十二月十二日

駁府炎上

一覽永十一年七月廿三日

西丸
癸上

御上洛御留書

一同十六年八月十日

御奉丸炎上

御書
又云御厨天火

一明曆三年三月十九日

御本元二九三九

丁巳年四月十二日

二九

大正

松平定海

天保十一年の年つまひにきこ入らぬい父君の
かりぬれ病ふやうにたまい玉の病まつをもめば
ゆわより奉れとまゝういゆふもたあさうち
ゆふは其ふをゆふとつち越ぬるゝ智うに
ともていふて一日夜朝高なるにさういふ
ぬる甲斐あるにやとわらんせめて追懐たて
ゆふうんといふかこもなうかううと
おへあふ

わふみれをいへぬ
おのゝりや海よけはる

去年のよき時節はふじのかつといふやう
ふじのうき何うかと書はうけなせ
うきものうきものうきものうきもの
といふはうきもの

ゆたうきものうきものうきものうきもの
今れはうきもの

尾州公

我父

大馬路のうきものうきものうきものうきもの

のうきものうきものうきものうきもの
うきものうきものうきものうきもの
うきものうきものうきものうきもの
うきものうきものうきものうきもの
うきものうきものうきものうきもの

大馬路

なうきものうきものうきものうきもの
うきものうきものうきものうきもの
うきものうきものうきものうきもの
うきものうきものうきものうきもの
うきものうきものうきものうきもの

多一の病の床にありと死すべしと云ふ所
ゆつする言に於る病にも之はまた父の仇
はいにけりとの言はき痛くもなほなやとて父

盛年

十餘りの御鈴の玉をたゞ現代の故

就きし一々をせしひ湯位たふのりをもひて
 万の小民を重くをもつといつてみ天照
 りれあはれきさきなりといふきさきぬ人もな
 かん海にて高きなりまつてなる限りも
 代もつるをもひし一々をせしとてとて
 とやあらんそふ心ちいなるはれもなかりぬ
 こそその美月の照るひよのゆふ地のすさねを
 照るぬえさつるなりとてその神さ風のわきも
 いれりをはりんかともいふ思ふぬいとも
 けすすしはあはれはあはれなりとて神佛を

[illegible]

ぬきやをりふいのうきそいくものねのうの
おゆの馬車みきふさせのうきひのうの
はなととのあてもうのう

思ひまわつて子生のその少教いまたうみまひあきと
いやな左の押へをひきぬけりけりて祀をぬぬる
ふぬぬるもさびつてけりおれのみさるるれもぬ

ハヤハヤと日々暮るのちあつりもとゆふのうい
つけておろく暮れとてぬ

悔の心はゆるゆゑにてせめゆられ
 けふもゆるゆるとゆるゆるとゆる
 ゆるゆるとゆるゆるとゆるゆると

司

卿。あふい、や、まゝしと爲すはわのれん
 君よなにも多き法位をすくもるふやのみこりし
 いふ不禮儀のゆゑにせし龍の舞をもいひえぬが
 輪王寺の宮より上野の桜をお臨みなりけり

忠邪

今更なるはるかに花よりふもよめ
上御膳子
之御黄今ゆめの聲よりよめより山よりうな

人神ゆめ黄今ゆめの夢をてまめみろいまゝうな

御服差

仿前玉函光

代金五枚

毛彫蘭花

御刀

青江恒次

代金三枚

毛彫絲子

素束作

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

不肖孤齊順今茲當朝親以前月十一日癸子

南紀翼十二日至河內牧方道上奄聞

顯考疾大漸心驚神飛倍道兼行雨露悠遠

泥土結滑况愛知大堰洋溢阻水將如之何至

都之日已有山變訃哀慟摧裂曷可勝任順

也不肖旻天不矜罹此難厄不得持養哀慕

何止謹奉輓詞如泉蘭摧玉折是何年愁深

泣血吞聲淚如泉蘭摧玉折是何年愁深

滄海千尋水腸斷瑤階尺五天仙霍遠歸

蓬島月夜烏亂噪柳梢煙愧無涓滴酬高

德空奉哀章一幅箋

哀子紀伊大納言源齊順謹執顙再拜

風宵無賴入

椿居忽使見曹失所於曾謂千秋侍

鳩杖何期旦

送靈輿泊埃未報慈恩厚頃刻難停泣涕洟
二十八年春夜夢追思時昔轉淒如
哀子齊民誓願再拜

鼎湖遺憾杳難追萬事回頭夢一時應是玉皇
天上淚化成春雨灑花枝似禁煙辰任是花發
萬井蕭條度五旬眼中渾似禁煙辰任是花發
多風雨縱得晴光亦不春
方是艷陽花滿城端居徒抱感時情世間絲竹
渾收寂獨有黃鸝檀美聲
鼎湖龍去處羣下以号時環佩九天遠哀麻雙
闕遲陽和唯草木陰雨又花枝屬目渾蕭寂暮鐘

催落曦
金輿遠行不復回上方
人間恨万朵蕭條和雨推
殿空崔嵬小花猶會
拜上野新廟
本多助籍拜

御送物

右大羽様口

御差

御刀 備前守 銘光

代金 三枚 取

御服 長光

代金 五枚 取

御差

御刀 志津 為氏

代金 五枚 取

御服 為氏 圓盛光

代金 三枚 取

御差

御刀 並井 志津

代金 五枚 取

御服 加賀 玉行光

代金 三枚 取

御送物

御送物

御送物

田安一位殿

清水中納言殿

御

刀

豊後玉形光

御

刀

代金十兩

御

刀

代金十兩

御

刀

代金十兩

御

刀

代金十兩

御

刀

代金十兩

徳川氏部

徳川氏部

松平三河守

松平朝政

御

刀

備前則光

御

刀

伊豫守定

御

刀

伊豫守定

御

刀

伊豫守定

御

刀

伊豫守定

御

刀

伊豫守定

御

刀

伊豫守定

松平清海

松平清海

松平清海

松平清海

松平清海

同

臨江義師 七言下
代金日行

同

臨江義師 七言下
代金日行

同

臨江義師 七言下
代金日行

同

臨江義師 七言下
代金日行

同

臨江義師 七言下
代金日行

同

臨江義師 七言下
代金日行

松平 山

酒井 山

松平 山

松平 山

松平 山

松平 山

同

臨江義師 七言下
代金日行

松平 山

古何 山

三月 市

臨江義師 七言下
代金日行

井 山

臨江義師 七言下
代金日行

水 山

臨江義師 七言下
代金日行

古 山

臨江義師 七言下
代金日行

古 山

市嘉物月以
市年以嘉物

月以

市嘉物月以 市年以嘉物 市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

市年以嘉物

法清二

七

其月也

御造物

古書

御具

御書

御書

御書

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

松多現現

一日以

成皇姑現現

一日以

溶雅現現

一日以

東雅現現

一日以

古代現現

一日以

海現現

一日以

王皇姑母前現

王皇姑母前現

王皇姑母前現

王皇姑母前現

王皇姑母前現

王皇姑母前現

松多現現

一日以

成皇姑現現

一日以

溶雅現現

一日以

東雅現現

一日以

古代現現

一日以

海現現

一日以

日

村皇姑母前現

村皇姑母前現

村皇姑母前現

村皇姑母前現

村皇姑母前現

村皇姑母前現

村皇姑母前現

甘肅之波版

一日

日

五達波版

一日

四安之版
千安之版

一日

山年之版

純如

一日

山年之版

浪石

浪石

浪石

浪石

一日

一日

一日

一日

一日

一日

一日

一日

一日

一日

一日

浪石

浪石

浪石

浪石

山年之版

河井野村書

一日

山平里屋寺金庫屋
細川氏寺屋金
道成院

一日

山平里屋寺金庫屋
相平院寺屋金
りふ院

一日

山平里屋寺金庫屋
馬平寺屋金庫屋
芳通院

一日

山平里屋寺金庫屋

浪打寺

浪打寺

浪打寺

浪打寺

河井野村書

一日

山平里屋寺金庫屋
紀伊屋寺金庫屋

一日

山平里屋寺金庫屋
尾張屋寺金庫屋

一日

山平里屋寺金庫屋

一日

浪打寺

浪打寺

浪打寺

浪打寺

市中篇

之

文章波振御在學中。年長出類。お幼は月上。福
 年。前上。及。は。月。而。二。死。行。上。福。年。前。及。
 増。和。別。順。以。子。當。人。也。重。三。言。也。危。り。り。之。利
 後。お。幼。は。氏。之。氣。ふ。ぬ。摘。賢。は。你。身。人。

卷之五

三

う

回文

子
性

市切米

市令千金之卵也

所為者皆為

新印

卷之五

油 本

西条

別荘

別荘

年々金に乏しく

ちいさな子

子
子
子
子
子

日

ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子

書

金

うた

ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子

子
子
子
子
子

日

ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子
ちいさな子

大

上

花園

沢川

新通刺
作牙已來以切米以全力全
此物方第所至為一生之
大用者其何人乎
今或為
花

今更なる所の山勢はあはれに中し金物と云ふ限り敷く
山勢入る所の山はあはれに中し金物と云ふ限り敷く
あはれに中し金物と云ふ限り敷く
山勢入る所の山はあはれに中し金物と云ふ限り敷く
あはれに中し金物と云ふ限り敷く
山勢入る所の山はあはれに中し金物と云ふ限り敷く
あはれに中し金物と云ふ限り敷く
山勢入る所の山はあはれに中し金物と云ふ限り敷く
あはれに中し金物と云ふ限り敷く
山勢入る所の山はあはれに中し金物と云ふ限り敷く

神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇
神皇正統記 聖武天皇御宇

神皇正統記

神皇正統記

神皇正統記

神皇正統記

[illegible][illegible]

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a personal note. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a signature or a date.

Handwritten text at the top of the left page, possibly a date or a header.

Main body of handwritten text on the left page, continuing the cursive script from the right page. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document fragment.

M. G. B. B. B.

此乃家來之書。汝等兄弟，通曉令道，領民教養，
不覺其然。任事永川，雖多不便，欲去者不可也。於前長官
供陳，言其世習，多有不便之處，指出以相達。其
之利害，有可諒矣。孰能承而代一見其所以，知我意。
乃去皆不悅。汝等兄弟，既出京，凡三見多人，
乃言免南河兵卒，留中者，亦對。

藏以爲寶
 其功如神
 不特以方板
 中合於宜
 從膝跪正散
 人致夜群言
 美身校又此
 臨以帶巾之
 上

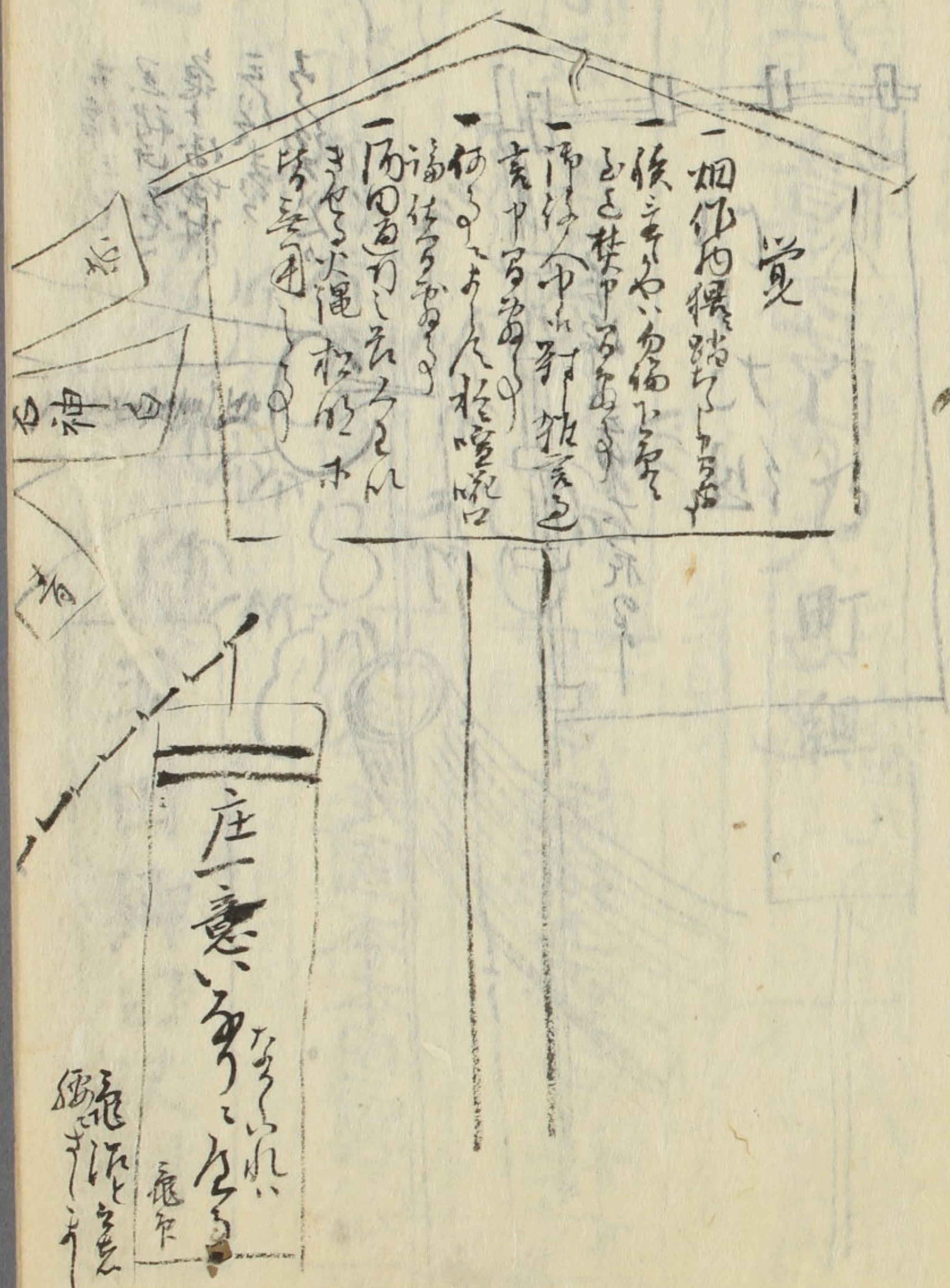
三ノ下

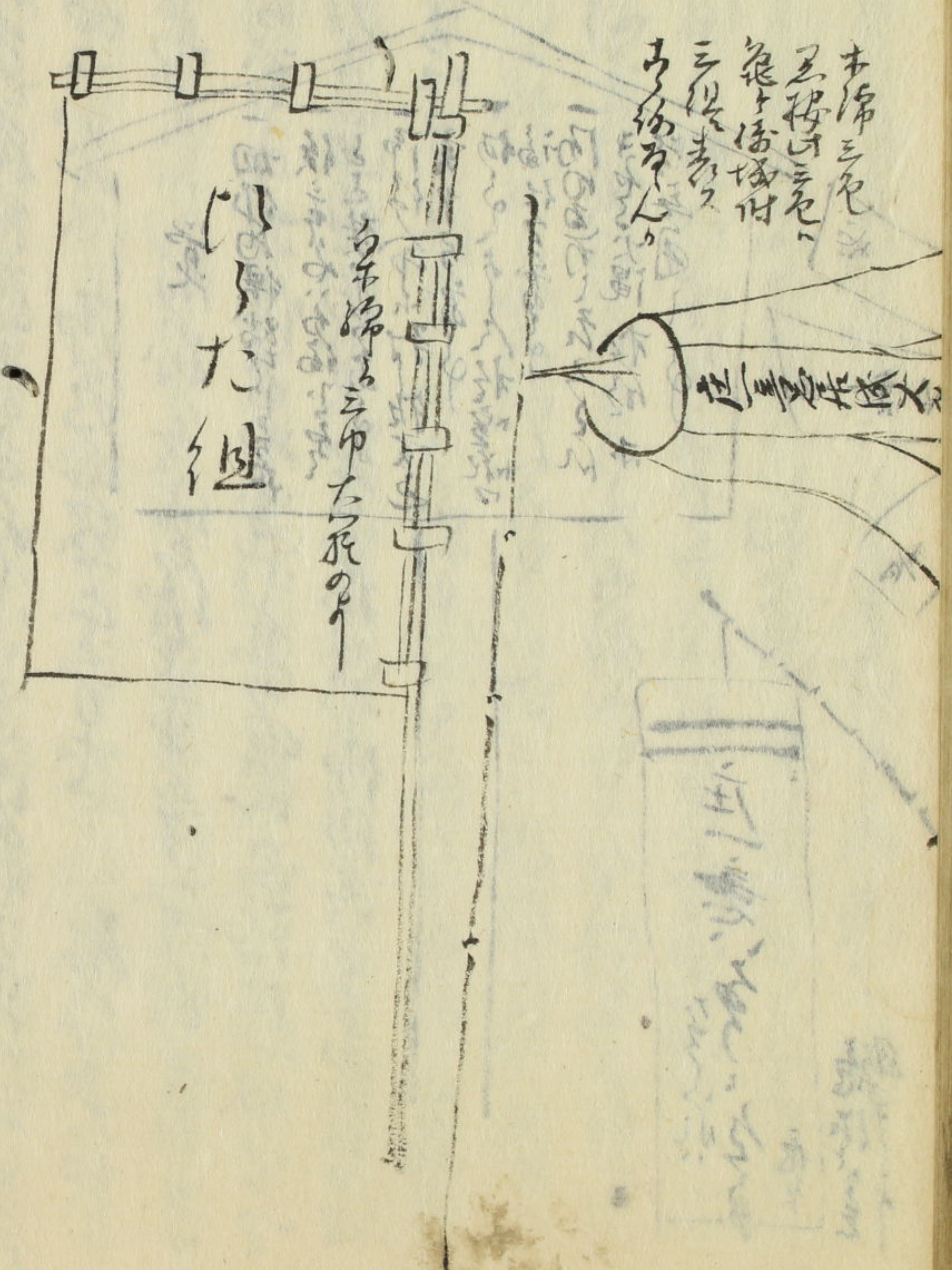
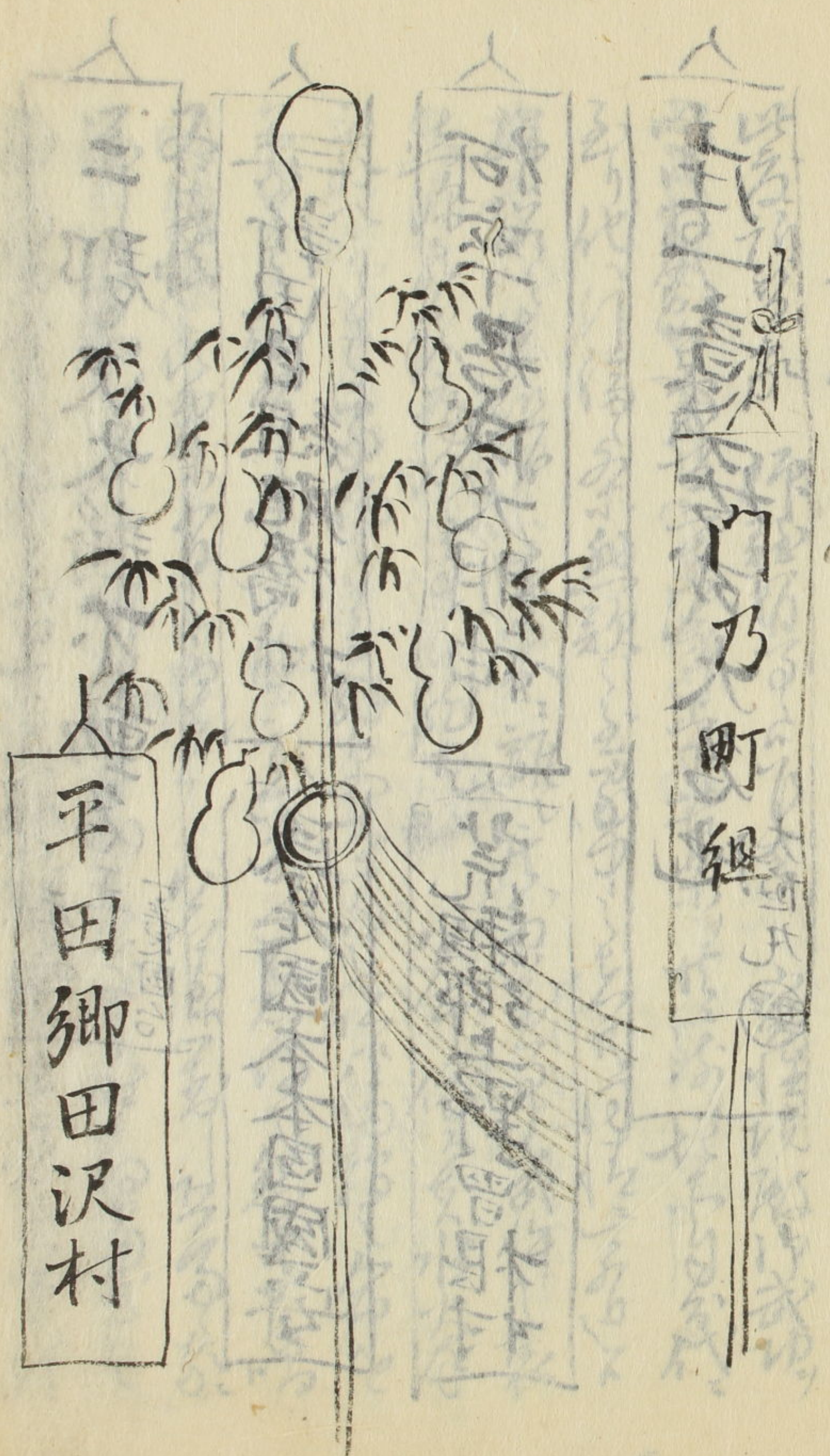
涌井乃對

[illegible]

乃夫七根物種數多ありて、其製方亦多岐なり、其所以
 成りて、
 解法
 乃夫七根物種數多ありて、其製方亦多岐なり、其所以
 成りて、
 解法
 乃夫七根物種數多ありて、其製方亦多岐なり、其所以
 成りて、
 解法

1501. 1502. 1503. 1504. 1505. 1506. 1507. 1508. 1509. 1510. 1511. 1512. 1513. 1514. 1515. 1516. 1517. 1518. 1519. 1520. 1521. 1522. 1523. 1524. 1525. 1526. 1527. 1528. 1529. 1530. 1531. 1532. 1533. 1534. 1535. 1536. 1537. 1538. 1539. 1540. 1541. 1542. 1543. 1544. 1545. 1546. 1547. 1548. 1549. 1550. 1551. 1552. 1553. 1554. 1555. 1556. 1557. 1558. 1559. 1560. 1561. 1562. 1563. 1564. 1565. 1566. 1567. 1568. 1569. 1570. 1571. 1572. 1573. 1574. 1575. 1576. 1577. 1578. 1579. 1580. 1581. 1582. 1583. 1584. 1585. 1586. 1587. 1588. 1589. 1590. 1591. 1592. 1593. 1594. 1595. 1596. 1597. 1598. 1599. 1600. 1601. 1602. 1603. 1604. 1605. 1606. 1607. 1608. 1609. 1610. 1611. 1612. 1613. 1614. 1615. 1616. 1617. 1618. 1619. 1620. 1621. 1622. 1623. 1624. 1625. 1626. 1627. 1628. 1629. 1630. 1631. 1632. 1633. 1634. 1635. 1636. 1637. 1638. 1639. 1640. 1641. 1642. 1643. 1644. 1645. 1646. 1647. 1648. 1649. 1650. 1651. 1652. 1653. 1654. 1655. 1656. 1657. 1658. 1659. 1660. 1661. 1662. 1663. 1664. 1665. 1666. 1667. 1668. 1669. 1670. 1671. 1672. 1673. 1674. 1675. 1676. 1677. 1678. 1679. 1680. 1681. 1682. 1683. 1684. 1685. 1686. 1687. 1688. 1689. 1690. 1691. 1692. 1693. 1694. 1695. 1696. 1697. 1698. 1699. 1700. 1701. 1702. 1703. 1704. 1705. 1706. 1707. 1708. 1709. 1710. 1711. 1712. 1713. 1714. 1715. 1716. 1717. 1718. 1719. 1720. 1721. 1722. 1723. 1724. 1725. 1726. 1727. 1728. 1729. 1730. 1731. 1732. 1733. 1734. 1735. 1736. 1737. 1738. 1739. 1740. 1741. 1742. 1743. 1744. 1745. 1746. 1747. 1748. 1749. 1750. 1751. 1752. 1753. 1754. 1755. 1756. 1757. 1758. 1759. 1760. 1761. 1762. 1763. 1764. 1765. 1766. 1767. 1768. 1769. 1770. 1771. 1772. 1773. 1774. 1775. 1776. 1777. 1778. 1779. 1780. 1781. 1782. 1783. 1784. 1785. 1786. 1787. 1788. 1789. 1790. 1791. 1792. 1793. 1794. 1795. 1796. 1797. 1798. 1799. 1800. 1801. 1802. 1803. 1804. 1805. 1806. 1807. 1808. 1809. 1810. 1811. 1812. 1813. 1814. 1815. 1816. 1817. 1818. 1819. 1820. 1821. 1822. 1823. 1824. 1825. 1826. 1827. 1828. 1829. 1830. 1831. 1832. 1833. 1834. 1835. 1836. 1837. 1838. 1839. 1840. 1841. 1842. 1843. 1844. 1845. 1846. 1847. 1848. 1849. 1850. 1851. 1852. 1853. 1854. 1855. 1856. 1857. 1858. 1859. 1860. 1861. 1862. 1863. 1864. 1865. 1866. 1867. 1868. 1869. 1870. 1871. 1872. 1873. 1874. 1875. 1876. 1877. 1878. 1879. 1880. 1881. 1882. 1883. 1884. 1885. 1886. 1887. 1888. 1889. 1890. 1891. 1892. 1893. 1894. 1895. 1896. 1897. 1898. 1899. 1900. 1901. 1902. 1903. 1904. 1905. 1906. 1907. 1908. 1909. 1910. 1911. 1912. 1913. 1914. 1915. 1916. 1917. 1918. 1919. 1920. 1921. 1922. 1923. 1924. 1925. 1926. 1927. 1928. 1929. 1930. 1931. 1932. 1933. 1934. 1935. 1936. 1937. 1938. 1939. 1940. 1941. 1942. 1943. 1944. 1945. 1946. 1947. 1948. 1949. 1950. 1951. 1952. 1953. 1954. 1955. 1956. 1957. 1958. 1959. 1960. 1961. 1962. 1963. 1964. 1965. 1966. 1967. 1968. 1969. 1970. 1971. 1972. 1973. 1974. 1975. 1976. 1977. 1978. 1979. 1980. 1981. 1982. 1983. 1984. 1985. 1986. 1987. 1988. 1989. 1990. 1991. 1992. 1993. 1994. 1995. 1996. 1997. 1998. 1999. 2000. 2001. 2002. 2003. 2004. 2005. 2006. 2007. 2008. 2009. 2010. 2011. 2012. 2013. 2014. 2015. 2016. 2017. 2018. 2019. 2020. 2021. 2022. 2023. 2024. 2025. 2026. 2027. 2028. 2029. 2030. 2031. 2032. 2033. 2034. 2035. 2036. 2037. 2038. 2039. 2040. 2041. 2042. 2043. 2044. 2045. 2046. 2047. 2048. 2049. 2050. 2051. 2052. 2053. 2054. 2055. 2056. 2057. 2058. 2059. 2060. 2061. 2062. 2063. 2064. 2065. 2066. 2067. 2068. 2069. 2070. 2071. 2072. 2073. 2074. 2075. 2076. 2077. 2078. 2079. 2080. 2081. 2082. 2083. 2084. 2085. 2086. 2087. 2088. 2089. 2090. 2091. 2092. 2093. 2094. 2095. 2096. 2097. 2098. 2099. 2100. 2101. 2102. 2103. 2104. 2105. 2106. 2107. 2108. 2109. 2110. 2111. 2112. 2113. 2114. 2115. 2116. 2117. 2118. 2119. 2120. 2121. 2122. 2123. 2124. 2125. 2126. 2127. 2128. 2129. 2130. 2131. 2132. 2133. 2134. 2135. 2136. 2137. 2138. 2139. 2140. 2141. 2142. 2143. 2144. 2145. 2146. 2147. 2148. 2149. 2150. 2151. 2152. 2153. 2154. 2155. 2156. 2157. 2158. 2159. 2160. 2161. 2162. 2163. 2164. 2165. 2166. 2167. 2168. 2169. 2170. 2171. 2172. 2173. 2174. 2175. 2176. 2177. 2178. 2179. 2180. 2181. 2182.





志願
土
一意國治

民是國本本固國安

荒瀬郷上野曾根村

大極丸

[illegible]

夢

明くありける

1875
 1876
 1877
 1878
 1879
 1880
 1881
 1882
 1883
 1884
 1885
 1886
 1887
 1888
 1889
 1890
 1891
 1892
 1893
 1894
 1895
 1896
 1897
 1898
 1899
 1900
 1901
 1902
 1903
 1904
 1905
 1906
 1907
 1908
 1909
 1910
 1911
 1912
 1913
 1914
 1915
 1916
 1917
 1918
 1919
 1920
 1921
 1922
 1923
 1924
 1925
 1926
 1927
 1928
 1929
 1930
 1931
 1932
 1933
 1934
 1935
 1936
 1937
 1938
 1939
 1940
 1941
 1942
 1943
 1944
 1945
 1946
 1947
 1948
 1949
 1950
 1951
 1952
 1953
 1954
 1955
 1956
 1957
 1958
 1959
 1960
 1961
 1962
 1963
 1964
 1965
 1966
 1967
 1968
 1969
 1970
 1971
 1972
 1973
 1974
 1975
 1976
 1977
 1978
 1979
 1980
 1981
 1982
 1983
 1984
 1985
 1986
 1987
 1988
 1989
 1990
 1991
 1992
 1993
 1994
 1995
 1996
 1997
 1998
 1999
 2000
 2001
 2002
 2003
 2004
 2005
 2006
 2007
 2008
 2009
 2010
 2011
 2012
 2013
 2014
 2015
 2016
 2017
 2018
 2019
 2020
 2021
 2022
 2023
 2024
 2025
 2026
 2027
 2028
 2029
 2030
 2031
 2032
 2033
 2034
 2035
 2036
 2037
 2038
 2039
 2040
 2041
 2042
 2043
 2044
 2045
 2046
 2047
 2048
 2049
 2050
 2051
 2052
 2053
 2054
 2055
 2056
 2057
 2058
 2059
 2060
 2061
 2062
 2063
 2064
 2065
 2066
 2067
 2068
 2069
 2070
 2071
 2072
 2073
 2074
 2075
 2076
 2077
 2078
 2079
 2080
 2081
 2082
 2083
 2084
 2085
 2086
 2087
 2088
 2089
 2090
 2091
 2092
 2093
 2094
 2095
 2096
 2097
 2098
 2099
 2100
 2101
 2102
 2103
 2104
 2105
 2106
 2107
 2108
 2109
 2110
 2111
 2112
 2113
 2114
 2115
 2116
 2117
 2118
 2119
 2120
 2121
 2122
 2123
 2124
 2125
 2126
 2127
 2128
 2129
 2130
 2131
 2132
 2133
 2134
 2135
 2136
 2137
 2138
 2139
 2140
 2141
 2142
 2143
 2144
 2145
 2146
 2147
 2148
 2149
 2150
 2151
 2152
 2153
 2154
 2155
 2156
 2157
 2158
 2159
 2160
 2161
 2162
 2163
 2164
 2165
 2166
 2167
 2168
 2169
 2170
 2171
 2172
 2173
 2174
 2175
 2176
 2177
 2178
 2179
 2180
 2181
 2182
 2183
 2184
 2185
 2186
 2187
 2188
 2189
 2190
 2191
 2192
 2193
 2194
 2195
 2196
 2197
 2198
 2199
 2200
 2201
 2202
 2203
 2204
 2205
 2206
 2207
 2208
 2209
 2210
 2211
 2212
 2213
 2214
 2215
 2216
 2217
 2218
 2219
 2220
 2221
 2222
 2223
 2224
 2225
 2226
 2227
 2228
 2229
 2230
 2231
 2232
 2233
 2234
 2235
 2236
 2237
 2238
 2239
 2240
 2241
 2242
 2243
 2244
 2245
 2246
 2247
 2248
 2249
 2250
 2251
 2252
 2253
 2254
 2255
 2256
 2257
 2258
 2259
 2260
 2261
 2262
 2263
 2264
 2265
 2266
 2267
 2268
 2269
 2270
 2271
 2272
 2273
 2274
 2275
 2276
 2277
 2278
 2279
 2280
 2281
 2282
 2283
 2284
 2285
 2286
 2287
 2288
 2289
 2290
 2291
 2292
 2293
 2294
 2295
 2296
 2297
 2298
 2299
 2300
 2301
 2302
 2303
 2304
 2305
 2306
 2307
 2308
 2309
 2310
 2311
 2312
 2313
 2314
 2315
 2316
 2317
 2318
 2319
 2320
 2321
 2322
 2323
 2324
 2325
 2326
 2327
 2328
 2329

為

ねはろゝゝ金ろゝちをさるゝふを林しと奥にさりりり

[illegible]

芝居あるすま外月やぶちりより○なり武をせいとえす
 甲州にオゴ山とオゴ山とハツサリするのぐさんとぶちりぐ
 今限をぬのめくにつくあてけみ天とつのおふぬのう人
 一事のち彼のやちのどうち^サ紀^ハのこのぬありこり
 とくともあらにち彼のうりけりうわ林のうもやへん
 枚のあるか倍だちう倍よる事たいにハはよぬにある
 ちあるのか倍ふふふぬのあはぬのありけえぬこり
 ツサにむらうつふふ^{シラヌヒ}知火のうらばのみのへなりり
 ツの倍もいぬもぬの泡とるなりぬのぬぬあるこりぬのぬぬ

花
草
水
木
葉
子

大山多文化
おしよとの五郎
石川全郎
中子とてい
安田氏
柳澤氏
子とてい

後修

紀伊の千石の所は、とてふる井や、千石の
の勢、ゆゑあるとて、西のるゑとて、さうり

力
持
い
い
し
て

いふを傳へてゐるおやうな事だと思ふ
 のちのちの事の中へ物と物とをさやうに
 して麻やをさうしてゐるやうな事だと思ふ
 のれはせせせせせせせせせせせせ

